

妙計奇策

題字 妙計奇策 挿画 内子教育会OB 宮瀬 弘吉 解説は3面



百年輝き続ける 道後温泉を目指して

松山市道後温泉事務所
活性化担当課長

山下勝義

約3000年の歴史を誇り、日本最古といわれる道後温泉。道後温泉本館は、平成6年に公衆浴場として初めて重要な文化財に指定された松山市の宝です。市街地を中心に半径2kmの円内に、松山城、JR松山駅、道後温泉が含まれ、温泉の度に楽しめる魅力的な立地です。また道後温泉は、周囲を山に囲まれた約1km四方に観光資源が集積しています。「まちなか」で旅情も楽しめます。珍しい加温も加水もしないドレイン(20°C~42°C)の源泉を汲み上げ、18本の源泉から異なる温度に珍しい配湯しています。全国的に珍しい加温も加水もしない

源泉かけ流しの美人の湯です。重文の公衆浴場を、営業しながら保存修理工事を行うのは日本初です。ピンチをチャンスと捉え、官民一体で乗り越えようとしています。道後湯之町初代町長伊佐庭如矢は、「百年経つても他所が真似できないものをつくりこなす。それが初めてモノをいふう。人が集まるところが潤い、子々孫々までの利益になる」と語っています。

本館という宝を未来に引き継ぎ、100年先まで輝き続ける道後温泉を目指します。道後温泉事務所は、『百年経つても他所が真似できない』としています。道後湯之町初代町長伊佐庭如矢は、「百年経つても他所が真似できない」として、道後湯之町が潤い、「百年経つても他所が真似できない」といった驚くべき実態もたるものが多い。中には、「アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している」といった驚くべき実態もあるようだ。▼子どもの将来に影響を与えないためにも、必要な支援が不可欠だが、家庭内のデリケートな問題であるため、助けを求めてくる場合、教職員には、笑顔の裏にあるSOSにいち早く気付く感性を持ち、一人一人の気持ちに寄り添いながら日々の教育活動に当たつてほしいと願う。



一略
(やました・かつよし)
愛媛県八幡浜市生まれ
平成26年
道後温泉事務所配属

発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝賀町1丁目5-33
エスボワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

(3) (2) 学校紹介 拓南中学校
(4) (5) 特集「私の健康法」
(6) (7) 第49回入選俳句
(8) ふるさとスケッチ

作品で装飾した新たな温泉文化を発信する拠点です。
今年度から本館工事が後期事業に移行することに合わせ、二つの事業を開始しました。
一つは「みんなの道後温泉活性化プロジェクト」です。『stay hot, stay creative』がコンセプトで、「アート×人×温泉」の熱量で、道後温泉を日本を、世界を温めたいとの想いを込めています。街は、大竹伸朗さんや蜷川実花さんなど、個性あふれる魅力的なアートで彩られています。
もう一つは、愛媛大学を中心とした道後学やファイアードを醸成し、SDGsを推進します。

聞

近ごろ、「ヤングケアラー」という活字をよく見る。病気や障がいなどケアが必要な家族の世話や家事をしている18歳

未満の子どものことだ。令和2年度に実施した国調査では、中学2年生の約5.7%、全日制の高校2年生の約4.1%が「世話をする家族がある」と回答している▼家事の一切を担うなど、いわゆる「お手伝い」の域を超えており、「自分の時間が取れない」といった悩みを抱えている子どもたちも多い。中には、「アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している」といった驚くべき実態もあるようだ。▼子どもの将来に影響を与えないためにも、必要な支援が不可欠だが、家庭内のデリケートな問題であるため、助けを求めてくる場合、教職員には、笑顔の裏にあるSOSにいち早く気付く感性を持ち、一人一人の気持ちに寄り添いながら日々の教育活動に当たつてほしいと願う。

ケアラー」という活字をよく見る。病気や障がいなどケアが必要な家族の世話や家事をしている18歳

ひとこと

持続可能な組織を
目指して



愛媛県小学校体育連盟会長

中川 祐二

マスク着用、頻繁な手洗い、手指消毒、静かに食事……こんな生活が当たり前の日々が継続しています。本連盟でも、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、年度当初の総会に始まる各種会合、研修会等の事業を開催するに当たり、参会中止及び紙面開催、縮小開催等の措置を取らざるを得ない状況が、ここ2年間続いてきました。その都度、連盟役員や関係の方々の知恵を結集し、どうにかして活動を止めない対応を重ねてきました。おそらく、どの組織も同様の措置を講じてこられたと拝察します。

そのような中、今年度は第60回全国学校体育研究大会愛媛大会が開催されました。愛

媛県として初めての開催である上に、大会史上初となる「誌上・ウェブ開催」の方式が採用され、本連盟も研究推進を中心とする大会運営に深く関わりを持たせていただきました。「ピンチをチャンスに」を合言葉に、諸団体の御支援のもと、実行委員の方々や研究指定校の先生方等、関係の皆様方の御尽力により、過去最高の参加者数を得て、多大な成果を収めることができました。

（松山市立味酒小学校長）

このように、コロナ禍だからこそ生まれた場で、これまでにない成果を収めることができます。そこで生まれた状況は、様々な分野で確認できます。ウェブ会議やオンライン学習の導入等により、社会全体の組織形態や運営方式が急激に変化している現状を目の当たりにしています。いずれコロナ禍は収束していくと思います。本連盟も、その対策から生み出された様々な状況を精査し、取捨選択して、社会の変化に柔軟に対応する持続可能な組織の確立を目指してまいります。

本校の校訓は「自主・協力・勤労」、教育目標は「未来を拓くたくましい生徒の育成」です。教職員はもちろん、地域や保護者も一体となり、社会全体の組織形態や運営方式が急激に変化している現状を目の当たりにしています。これまでに向けた挑み続ける生徒」「他者とのつながりを大切にする生徒」の育成を目指しています。

本校では9年前から、総合的な学習の時間に「防災」を取り上げています。1年生では「自助」、2年生では「公助」、3年生では「共助」をキーワードに学習を進めてい



学 校 紹 介

松 山 市 立 拓 南 中 学 校

No.225

～地域と共に共助の心を育む～

最初は、知識として「点」であつた学びが、「線」へとつながり、訓練を経て、系統的・横断的な内容へと進化します。地域の人々や身近な出来事との関わりを通して体験を深め、自ら課題を見つけ、仲間と協力的に課題解決を進めながら自己の在り方や生き方を見つけることを目指しています。これらの学習を通して、防災についての关心や意欲を高めるとともに、身近に迫る災害に備える態度や方法などを身に付けさせ、最終的には地域に貢献しようとする実践力を育成しています。

その実践力を付ける集大成の場が、毎年9月に地域と連携して行われる防災訓練です。正式名称は「素鷲地区自主防災訓練」です。一昨年度は、地域の方々や保護者と拓南中生、地域の小学生ら約300人が拓南中学校に集まり、協働して防災訓練を行いました。体育館で簡易テント設営をしたり、救命救急の方法を確認したり、地域の防災士と共に防災マップづくりをしたり、自分たちで火をおこして焼き出しを行い、数百人のカレーライスを作つて食べたりしました。



（教頭 大野 直正）

最初は、知識として「点」であつた学びが、「線」へとつながり、訓練を経て、系統的・横断的な内容へと進化します。新型コロナのためこの2年間は規模を縮小して行っていますが、今年度の自主防災訓練では、コロナ禍での避難所の在り方も検討し、更に学びを深めました。

地域との連携・協力体制の下、将来に繋がる実践力を培养する場として確かな学びが定着しています。実践を通して地域の方々から多くの学び、将来は地域社会に恩返しできる人に成長することを目標に、日々実のある教育活動を行っています。

題字に寄せて 妙計奇策



内子教育会
OB
宮瀬 弘吉

地区教育会 だより

中学生の 清掃奉仕活動

松山市教育会



松山市教育会
湯築支部長
矢野 肇

誰も思いつかないような優れたはかりごとを意味します。創造性教育に関心を持つて教育活動に取り組んできました。創造性と自尊感情は大きく関わっていると考えます。誰もがかつて経験したことのないような難題を突き付けられたコロナ禍の中でも、克服するアイデアや見直された価値観が、たくさんあります。テレワーク、ウェブ研修、テクノロジー、ぼっちキャンプ、非接触型の各種機器など。考えてみると、今こそ創造性教育の真価が問われています。動き始めた教育改革の中、自分の考えを大切にできる子どもの育成に努めたいと思います。

松山市教育会は、今年度当初、現職、OB、賛助会員ら計2,893人の大所帯で、9つのブロックで編成されています。昨年より新型コロナウイルス感染症のため諸活動がうまくいかず、現場ではご苦労されています。今回は、第6ブロックの勝山中学校の生徒たちの活動を紹介します。

国際平和教育の一環として、生徒会が毎月第2土曜日に「ロシア兵墓地清掃奉仕活動」を呼びかけ、現在まで37年間も続いています。この様な活動は、全国でも珍しいと思います。最近、この清掃には100人以上もの参加があり、墓標をきれいにするため、自分でスポンジを持参し、生徒会役員からの説明を聞いてそれぞれが墓石を磨きます。草抜

く関わっていると考えます。誰もがかつて経験したことのないような難題を突き付けられたはかりごとを意味します。

松山市教育会は、今年度当初、現職、OB、賛助会員ら計2,893人の大所帯で、9つのブロックで編成されています。昨年より新型コロナウイルス感染症のため諸活動がうまくいかず、現場ではご苦労されています。今回は、第6ブロックの勝山中学校の生徒たちの活動を紹介します。

国際平和教育の一環として、生徒会が毎月第2土曜日に「ロシア兵墓地清掃奉仕活動」を呼びかけ、現在まで37年間も続いています。この様な活動は、全国でも珍しいと

思います。今年度、宇和島南中等教育学校の人権委員会と美術部の生徒さんたちが、惟謙が少年期を過ごした西予市野村町でのフィールドワークで学んだことを人権紙芝居にまとめられました。その紙芝居には、

少年期における人生の「師」との出会いが人権に対する考え方や裁判官として権力に屈せず、被差別者の権利を保障

宇和島城上り立ち門の前に「大津事件」で司法の独立を守った人物として知られる児島惟謙の銅像が立っています。市内の高学年児童が史跡巡り等で訪れることもあります。

他の中学校でも、この紙芝居は活用され、学びが交流され広がりを見せています。

ロー・カルト・ピックス もつと「児島惟謙」



積立年金制度

明治安田生命は、みなさまとのよりよいコミュニケーションづくりに全力をつくしてまいります。

(制度引受幹事会社)

明治安田生命

四国公法人
営業推進部

〒760-0017 高松市番町1-7-5
TEL087-821-6811

(文教月報編集協力委員 平井 倫子)

しようとする惟謙の法思想の形成に影響を与えたことが表現されています。そして、「政府の圧力にも屈せず行動し、差別を見抜き、信念を貫いた惟謙の姿に、私たちが学ぶことは、非常に多い」と結ばれています。

特集 私の健康法

何も考えない時間



四国中央市関川小頭 明星 孝典

はたと困つて、もう半年が経ちます。「文教月報」へ原稿を寄せる機会をいただいたのは良いのですが、内容は「私の健康法」でした。しかも、「特集」などという枕詞まで付いていました。

日頃、健康とはほど遠い生活をしている私ですが、一つだけ意識していることがあります。それは、何も考えない時間です。時間は、何も考えない時間で過ごすことは、何も考えない時間で過ごすよりも難しいですね。

元来、温泉好きである私は、コロナ以前は、よく日帰り温泉へ行つており、これが私にとっての何も考えない時間でした。しかしコロナ禍となり、それがかなわなくなり

ました。そこで、ポスト温泉として登場したのが、自宅での入浴タイムです。子どもの頃から長湯の私は、風呂に入っている間に小さな悩み事が消えたり、反対に良いアイデアが浮かんだりすることがありました。大袈裟に言うと、心と体を解放している間に、良いイメージが舞い込んでくる感覚です。何も考えない…。風呂の中で特別なことをするわけではありませんが、私にとって、とても贅沢で貴重な時間となっていました。

さて、余談になりますが、50の半ばを迎えて長湯をしてみると、周りにいらぬ心配をさせるかもしれません。そして、そこを考え始めると、「何も考えない時間」ではなくなります。何事も良くなってしまいます。何事も良い塩梅で続けていきたいと思ふ今日この頃です。

現在会員は15名。高齢者ばかりだが、せっかくやるのだからできるだけ正しいラジオ体操をしよう。毎年講師を招き指導を受けている。またラジオ体操の普及推進の一助にと「ラジオ体操ひろめ隊」と称して、高齢者施設や地域の行事、放課後児童クラブなどに出向き、いつしょに体操をしたりゲームをしたりして交流を深めてきた。残念ながらここ2年ほどは、コロナ禍のため交流活動はほぼ停止しているが、毎月みんなで集まって雑談しながら体操をしたりストレッチをしたりして、細々とではあるが楽しく活動を続けている。ラジオ



八幡浜教育会 O.B
鎌田 宏和

「復元力」という健康力

数年前から左腕に痛みを感じ、肩が上がらなくなりました。そして肘枕をして横になつたり物を持ち上げたりできない不自由さに悩みました。退職を機に病院に行く

と、五十肩と腱板損傷で手術が必要とのことでした。意を決して手術を受けようと思いましたが、「水中運動がない」という知人の言葉を思い出し、最後の悪あがきでプールに通うことにしました。6月15日、若い頃お世話になつた思い出多き伊方町のプールで、ゆっくり泳ぎ始めました。案の定、肩が回らず、痛みに苛まれながらなんとか25メートルは泳ぎ切ることができましたが、長くは泳げない限り、半ば自棄になつて3往復ほど泳いで水から上がるようになりました。

それにはラジオ体操はちょうどいい、そう思つてゐる。そこで体拭い室で体を拭いていると、ある異変に気付きました。左手の着替え動作に痛みを感じなくなつていていたのです。恐る恐る腕を回してみると、可動範囲の広がりを実感することができました。たつた一度の水泳で、数年苦しんでいた痛みから解放されると、いう予感に高揚し、思わず心中で「奇跡」と叫んでいました。

ストレスや病気等の困難を乗り越えていく力をレジリエンス(復元力)と呼ぶそうになりました。ご縁に感謝し、今を大切にしながらこれからも知徳体

**ラジオ体操で
体も元気 心も元気**

新居浜教育会 O.B
長野 美和子

も続くとは思つてもいなかつたが、それはきっとこの会の持つゆるさのおかげなのだろうと思う。ラジオ体操をするのはもちろん健康の維持と増進のためだが、会の活動に縛られすぎないように気を付けている。頑張りすぎない、何か大きなことをしようとする欲張らない、お互いの取り組み方を尊重する等々。大事にしたいのは体と心の健康である。それにはラジオ体操はちょうどいい、そう思つてゐる。

と、五十肩と腱板損傷で手術が必要のことでした。意を決して手術を受けようと思いましたが、「水中運動がない」という知人の言葉を思い出し、最後の悪あがきでプールに通うことにしました。6月15日、若い頃お世話になつた思い出多き伊方町のプールで、ゆっくり泳ぎ始めました。案の定、肩が回らず、痛みに苛まれながらなんとか25メートルは泳ぎ切ることができましたが、長くは泳げない限り、半ば自棄になつて3往復ほど泳いで水から上がるようになりました。

更衣室で体を拭いていると、ある異変に気付きました。左手の着替え動作に痛みを感じなくなつていていたのです。恐る恐る腕を回してみると、可動範囲の広がりを実感することができました。たつた一度の水泳で、数年苦しんでいた痛みから解放されると、いう予感に高揚し、思わず心中で「奇跡」と叫んでいました。

ストレスや病気等の困難を乗り越えていく力をレジリエンス(復元力)と呼ぶそうになりました。ご縁に感謝し、今を大切にしながらこれからも知徳体

の健康づくりに励んでいきました
いとあります。
「私はこれからもひたすら自分を倒す稽古を続けていく」
(柔道家 大野将平)



西宇和教育会
OB 長野 照道

コロナ禍の中で

昨年春、70歳を機に勤めを退いたので、空いた時間を埋める必要が生じた。コロナ禍でもあるので、人ごみを避け、畠の世話をすることになった。作業の種類はいろいろあるが苗から野菜を育てるよう分は専ら短時間で結果が出ている。中でもお気に入りは、日照

の邪魔になる隣接した土地の立木の伐採である。廃園や放棄地が増えてきたので仕事には事欠かない。枝振りから重心のかかる方向を計算してチエーンソーで倒す。「メリメリ、ドシーン!」と狙つた方向に倒れると最高である。視界が一気に開けて八幡浜や宇和島辺りの島が見えると何とも言えない良い気分になる。

コロナ禍での二つの過ごし方は在宅のテレビスポーツ観戦である。今までリアルタイムで見る機会の少なかったテニスやゴルフで大坂選手や松山選手が優勝するのを見るとしても興奮する。最近ではメジャーリーグの大谷選手やダルビッシュ投手、前田投手の戦いに一喜一憂している。スポーツ観戦では感情移入できる選手がいると興味は一層深まる。自分の場合は病気やけがを克服し、素晴らしい

パフォーマンスを發揮している水泳の池江選手や大相撲の照ノ富士関である。活躍を楽しみにしている。コロナ禍の中でできることは限られるが、いろいろな方法で気持ちを高め健康を維持しているこうと思っている。

ただで、何だか仕事をたくさんした気分になつていています。ですが、歩数が多いとそれは限られるが、いろいろな方法で気持ちは高め健康を維持しているこうと思っている。

歩いて健康に



西予教育会
OB 益田 幸子

健康のために私が意識していることは、歩くことです。ウォーキングというほどものではなく、歩くことを楽しむ、毎日の歩数を増やすことをめざしています。

私は教員を少し早く退職し、今は生活支援員として学

校に勤務しています。仕事の中で車を止め、周辺の道路や近くの運動公園を歩いたりします。その日の自分を振り返り気分もリフレッシュさせ、さらにスマホアプリで目標歩数をめざす楽しみもあります。早く帰宅して家のことをしなくては、といつも急いでいた教員時代のことを考えると、ぜいたくでゆつくりした時間です。

目標に届いていないときには、夕食後も歩きますが、無理はしません。寒い日は歩きません。こんなことで健康法と言えるのかわかりませんが、何をしても三日坊主の私

が結構続けられている、といふことに満足しています。また、健康のために忘れてならないのが、定年退職した夫が作る野菜です。今までに20種類以上が食卓にのぼりました。家族みんなが元気で、毎日楽しく過ごせる日々に感謝しながら、また明日もぼちぼち歩きたいと思います。

祝 受章おめでとうございます
◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）
石川 尚暉様 88歳 元川之江市立南中学校長 四国中央市 沖本 敏春様 88歳 元八幡浜市立白浜小学校長 八幡浜市

文教俳句

-俳句ボストより-

振袖にブーツを合わせ街闊歩	松山市 三谷 美貴
寒風に向ひてカモメ黙し立つ	松山市 池田 容子
大雪や日々草の咲き続く	松山市 白形 世舟
銀杏散る母の旅立つ朝の庭	東温市 戒能 多喜
切手にある故郷の陽の匂ひ	東温市 戒能 多喜
観瀑の五十匁親し歎石忌	東温市 戒能 多喜

お得な引越しのご案内

愛媛県学校生協は(株)サカイ引越しセンターと提携しております。学校生協組合員様とそのご家族の方の引越しは、引越しの基本料金から20%割引いたします。

お見積りは無料です

お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または 都市学校生活協同組合

株式会社
サカイ引越しセンター
まごころこめておつきあい



第49回愛媛県教育会俳句募集入選句

協賛 愛媛県学校生活協同組合連合会

一般の部

投句者 62名 投句数 117句

吉田 晃先生選

特選

縁側に子の髪を結ぶ小春かな

(評) 縁側、子の髪、結う。これららの言葉が持つているのは「温かさ」。

深い意味を持つ言葉がつながって句の温かさを増幅し、読む人の心を引きつける。季語「小春」がこれらと一体となり縁側の親子を更に温めてくれている。

優秀

慎ましき老母の湯浴み虫集く

小走りの修行僧追ふ青葉風

金寿喜寿共に白髪の春を生き

初時雨島の外灯滲ませり

子が仕切るタコ焼きパーティ小鳥来る

段畠に子の列まぶし青みかん

十字架の墓持つ寺や小鳥来る

図書館の匂ひほつこり冬隣

菊枯るる固き蕾を置き去りに

かさこそと落葉の鼓動風の宮

アルバムの祖母は美少女秋ざくら

そろばんをはじく指からみかんの香

吉田 晃先生選

投句者 62名 投句数 117句

特選

交番の国旗まぶしき文化の日

(評) 祝祭日に国旗の掲揚をする家はほとんど少なく少し淋しい思いをしていました。昨今、近くで日の丸が揚がっているのを見た作者。それは県庁や役所ではない小さな交番。しかも文化の日。眩しく見上げる作者の姿が想像できる。

優秀

子が仕切るタコ焼きパーティ小鳥来る

昼夜の子お伽の国より戻りけり

佳作

菊日和子等に金婚祝されて

亡母の服に母のぬくもり小望月

家々は影絵となりて秋夕焼

十字架の墓持つ寺や小鳥来る

縁側に子の髪を結ぶ小春かな

新入りも持病の話焚火の輪

山粧ふ寂れしままの峠茶屋

アルバムの祖母は美少女秋ざくら

石鎚の湧水旨し走り蕎麦

ブランドと縁なき暮し姫女苑

ジュニアの部

応募校

37校

投句数 1,337句
(校名下の数字は学年)

池田尊之先生選

特選

ちよこあいすぞうのとなりでとけていく 素鷺小1 白石 実鈴

(評) 動物園を訪れ大好きなゾウさんに見入る作者。「溶けていくチョコアイス」で時間を、「隣で」で距離を巧みに表しました。

冠婚葬祭事業 (株)ベルモニーのご案内

愛媛県学校生協は(株)ベルモニーと提携店契約を結んでおります。冠婚葬祭のご利用お申し込みの際に学校名と組合員様のお名前をお伝え頂きますと、割引などの特典が受けられます。

(他団体との併用はできません。)

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または 都市学校生活協同組合



暮らしに役立つマネーや 地域情報を配信中

見つかる、つながる。伊予銀行のWebメディア

 iyomemo



選者紹介



子規顕彰松山市
小中高校生俳句大会選者

おおくぼれいこ
大久保礼子



俳誌「泉」同人

いけだ たかゆき
池田 尊之



俳誌「泉」編集委員長

よしだ ひろこ
吉田 博子



俳誌「水煙」元同人会長

よしだ あきら
吉田 晃

優秀

日記書く姉を見つける夏の夜
かくれんぼ帰って気づく虫さされ
息白し六年通った通学路

福音小3
荏原小5
藤岡 咲希
佐々木夕奈

せんせいのせなかですいすいプールの日
ゆでぐりはおつて食べるハズレなし
ポケットにどんぐりつめる帰り道

福音小3
北久米小6
伊藤さら
佐々木夕奈

佳作

そふの手をにぎつてあるくもみじがり
タブレットがめんいつぱいいわしぐも
がぎぐげごボートこいだらきこえたよ
ばあちゃんとはしこでうめとるいい天氣

雄郡小1
道後小1
余土小1
愛治小1
鳴部小4
清水小3
吉川 渡邊
西野 莉央
稻葉 隆真
拓馬

すすきさく野原の空氣しづかにすう
ゆずうかべ今日は長ぶろ兄といる
しなるさお逃げるなイワナ手に力
弟のどんぐり回るせんたく機
ントンと手伝う料理夏の風

生石小4
雀田小4
山本
渡邊 橙真
西野 莉央
稻葉 隆真
拓馬

カマキリの赤ちゃんおはようまつてたよ
葉のかげがかすりもようの夏木立
行つてきますミノムシくぐつた通学路
すみっこにまんまるぶどうお弁当

清水小2
湯築小2
岩田 莉歩
佐々木夕奈

ヤスデビューエビを追っかけ面河川
ドングリをたくさん捨う朝清掃
鬼ごっこ木かげで息をととのえる
母の日は控えめになる反抗期
やる気すらとろけてしまう炎天下

玉川中3
正岡 由光
森 石岡
久米小6
三島小6
愛宕中1
港南中1
玉川中2
面河小5
池田
福田 隆晴
生石小4
雀田小4
山本
渡邊 橙真
西野 莉央
稻葉 隆真
拓馬

ヤスデビューエビを追っかけ面河川
ドングリをたくさん捨う朝清掃
鬼ごっこ木かげで息をととのえる
母の日は控えめになる反抗期
やる気すらとろけてしまう炎天下

三島小5
吉川 渡邊
西野 莉央
稻葉 隆真
拓馬

弟をひざまくらしてうちわ風
ダイダイの空に飛ぶのはゴジュウカラ
湯気立ちてふわりおこげと栗香る
遊覧船秋の大河を進みゆく
立ちこぎで青田の匂う帰り道

久米小6
五島 正英
高橋 優我
松平 陽久
中川虎太朗
飯尾 彩花
池田 壮志
福田 隆晴
生石小4
雀田小4
山本
渡邊 橙真
西野 莉央
稻葉 隆真
拓馬

弟をひざまくらしてうちわ風
ダイダイの空に飛ぶのはゴジュウカラ
湯気立ちてふわりおこげと栗香る
遊覧船秋の大河を進みゆく
立ちこぎで青田の匂う帰り道

三島小5
吉川 渡邊
西野 莉央
稻葉 隆真
拓馬

佳作

またきょうもたまご山もり金ぎよばち
せんせいのせなかですいすいプールの日
ゆでぐりはおつて食べるハズレなし
ポケットにどんぐりつめる帰り道

福音小3
北久米小6
伊藤さら
佐々木夕奈

大久保 礼 子 先 生 選

特選

紐結び歩調合わすか鮎雲

(評) 並んで歩こうとしている相手へのちょっと複雑そうな思いが、

視線の動きや、鮎雲から感じる秋に表っています。

ばあちゃんとおはなしリレーなつのつき
せみとまる体の中がある見え
七五三笑顔ではさむレンズかな

桑原小1
荏原小2
渡部
中村
丸山ひかり
愛宕中1
愛心

莉歩

柳谷小1

西野 心結

大仲 真緒

横山さらさ

久保田 鈴華

松井 美宙

美宇

道後小1

岩田 莉歩

佐々木夕奈

佐々木夕奈

鈴華

西野 心結

大仲 真緒

横山さらさ

久保田 鈴華

松井 美宙

美宇

佐々木夕奈

ご冥福をお祈りします											
横田	閑門	日浅	西山	白木	竹本	平野	武智				
正治	桂子	一男	定利	明子	喜久子	伸武	範里	勇			
様	様	様	様	様	様	様	様	様			
75歳	82歳	91歳	81歳	95歳	84歳	90歳	89歳	93歳	92歳	97歳	
大洲市五郎甲三五元	今治市山方町二丁目甲二五元	松山市石手四丁目七八	伊予郡松前町北川原七三	宇和島市笠町一三五	上浮穴郡久万高原町久万四五	四国中央市土居町土居三五	四国中央市土居町土居三五	松山市高井町九六	松山市高井町九六	松山市高井町九六	
3歳	3歳	3歳	3歳	3歳	3歳	3歳	3歳	3歳	3歳	3歳	
12歳	12歳	12歳	12歳	12歳	12歳	12歳	12歳	12歳	12歳	12歳	
27歳	23歳	18歳	17歳	10歳	9歳	7歳	5歳	5歳	4歳	4歳	

趣味で始めた版画の展覧会を、仲間と共に隔年で開いている。今年は「版画で描くえひめ百景」と題した企画展を行うことに留まる風



今治・越智教育会 O.B.

石川 雅子

ふるさとスケッチ

No.451



第二事例 内縁の夫が亡くなりましたが、公正証書遺言で財産を遺贈してくれましたから、私は全てをましたから、私は全てをました。私が数年間、介護をしてきました。前妻との間に子どももありました。夫が亡くなるまでの間、私が数年間、介護をしてきました。前妻との間に子どももありました。夫の希望がありましたが、夫の希望もありました。前妻も「残った財産は、貴女が受け取れば良い。」ということでした。私の財産は、二人の生活のために使い、介護にも使いました。ところが、遺贈を受けたあと、子どもの代理人の弁護士から、遺留分の請求をするとの連絡がありました。年老いた私は、これまでの生活をどうすればよいか不安です。

内縁の夫が残してくれた公正証書遺言がありながら、遺留分の請求を受けてしまつた事例ですが、現実とは実に厳しいものであるという事例です。基本的に内縁の妻は、法的に相続人ではないということ、内縁関係にある方が、法定相続人との口約束で、その時は大丈夫と思つていても、環境が変わると人の気持ちも変わることもあるときがあります。特に、今回のように亡夫の

前回に引き続き困難な事例の第二事例について寄稿させていただきます。

面倒は一切みないので、権利があることが判ると、請求してくることが往々にして見受けられます。しかも、内縁の夫が所有していた財産が、減少していることについても追及されかねません。

結果として、なぜ入籍していないかったのか、入籍していれば、配偶者としての法的立場が得られるということになります。内縁の夫の夫の形で明らかにしておく必要があつたということになります。

また、生前に内縁の夫のために使用した自らの預貯金を何らかの形で明らかにしておく必要があつたということになります。

あらゆる領収書等支出した証拠書類を大切にしておかなければならぬということを悲しいかなお伝えしておかなればなりません。

生前に贈与を受けたものの、遺言書に基づき取得した遺贈財産が遺留分の侵害になるのか、争いになるところだろうと思います。

以前にも申し上げたかも知れませんが、お尋ねになる方は、法律ではどうなつてゐるのですか、といわれることがあります。法律に全て規定されてゐる訳ではありません。細かいところはケースバイケースです。今回のケースでも、法定相続人が遺言書を認め、争いを起こさなければ、穩便に済む話なのです。

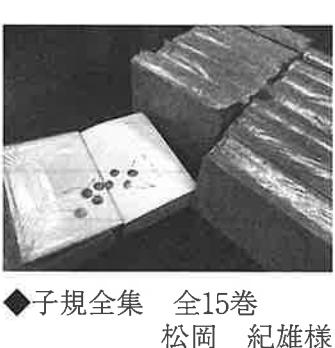
第三事例については次回に。

柿泉機
俳句雑誌
愛媛若葉
紅日
子規會誌

◆心の読書記録
「数学的な考え方」
望月 森生様
50年の
回顧と考察 等
加地 義夫様



◆私の「入門・日本絵画史」
檜垣 政司様



◆子規全集 全15巻
松岡 紀雄様

◆令和3年度寄贈図書

◆図書室から

令和3年度、左記の図書等をご寄贈いただきました。